

専門高校生による海外インターンシップ事業（担当課：高校教育課）

本県産業界の発展に貢献するグローバルな人材を育成するため、農業、水産を学ぶ専門高校生14名（25名の応募者の中から選抜）に対し、海外派遣研修に係る費用の一部を助成しました。14名は、昨年9月30日から6泊8日間の日程でオランダ及びドイツを訪問しました。オランダでは、本県が生産量日本一のトマトを題材に「トマトワールド」でスマート農業、日本の水産加工会社で修業をされた社長が経営する「北海水産」、世界最大級の花市場アールスメール花市場等を視察しました。また、ドイツでは現地農家での1泊2日間のファームステイ、水俣市のお茶生産農家「桜野園」代表 松本 和也氏の取引先業者視察と意見交換、農業関係大学生との交流活動を行いました。

本研修の成果は、熊本県産業教育振興会の産学懇談会等にて報告をしています。

海外研修の内容

期日※現地時間	研修内容	研修場所
9月30日（日）	熊本県庁発（出発式）→福岡空港へ→仁川空港発→オランダへ	オランダ
10月1日（月）	●アルバート・カイブ市場視察 ●北海水産（水産加工会社）視察 ●トマトワールド視察（スマートアグリ研修）	オランダ
10月2日（火）	●アールスメール花市場視察 オランダ→ドイツへ移動 ●森林教育センター視察	オランダ ドイツ
10月3日（水）	●ファームステイ（終日農業体験）バイオダイナミック農法研修	ドイツ
10月4日（木）	●学校交流（ガイゼンハイム大学） ●バイオマスエネルギー関連施設視察	ドイツ
10月5日（金）	●ドッテンフェルダーホフ エコ農場視察 ●桜野園代表松本和也氏コーディネートによる取引先業者の視察	ドイツ
10月6日（土）	●エラツォイガーマルクト（市場）視察 ●フランクフルト流通関連視察（スーパーマーケット、ホームセンター）	ドイツ
10月7日（日）	ドイツ出国→仁川空港→福岡空港→熊本県庁着（解散式）	

助成対象者の声

・海外研修に参加して、自分の農業に対する視野や考え方が変わったと思います。オランダのトマトワールドの様なスマート農業はこれから必要だと思います。しかし、全てを真似するのではなく、我が家（トマト農家）に合った方法を見つけることが大切だとわかりました。高校卒業後は、すぐに就農するのではなく、海外で農業を学び、その後父の跡を継ぎたいと考えるようになりました。地域を引っ張って行けるような人材になれるよう頑張ります。

・オランダのコンピューターを使った効率的な農業とドイツの有機農業を視察し、今まで以上に農業への興味を持つことができました。また、「環境への配慮」というキーワードも見つめることができました。この経験を農業経営に生かすだけではなく、持続可能な農業を地域、熊本県、日本で普及させていきたいと思います。

・出発してから帰国するまで、視察だけではなく移動の時間や食事等全てが私の学びとなりました。最先端の施設栽培や世界最大級の花市場、海外の生活や外国ならではの食文化、建物等、日本との違いを肌で感じる学びの宝庫でした。私の考え方は広がり、一步踏み出すことで変わる未来があることを知ることができた8日間でした。

・水俣のお茶農家松本さんの案内で、フランクフルトにある取引先を視察しました。松本さんはロンドンでのお茶の試飲会の後、私たちのために駆けつけてくれました。松本さんのお茶は無農薬で、有機肥料を使って栽培されており、有機栽培の認証が厳しいドイツでも販売することができます。松本さんの誠実な人柄が海外でも信用を得ているのだと実感しました。

